令和5年度　第1学年　数学科　年間指導計画

月	題材名	時数	目標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法	「資質・能力」「道徳との関連」等各学校・教科で必要なもの
4月	0章数学から算数へ ①整数の性質 ・九九のきまりを見つけよう	1	九九表の数の並びから，いろいろなきまりを見いだし，説明することができる。	A（1）イ	九九表の数の並びから，いろいろなきまりを見いだし，説明することができる。	ノート　発表 テスト	表現力
	・整数の性質	2	自然数をいくつかの数の積で表すことのよさや素因数分解の意味を理解する。 素因数分解の一意性を理解し，自然数を素因数分解することができる。	A（1）ア	素因数分解の一意性を理解し，自然数を素因数分解することができる。	ノート　テスト	主体性
				主体的に学習に取り組む態度	自然数をいくつかの数の積で表すことにより，整数の性質を見いだそうとしている。	ノート　発表 テスト	
	1章正負の数 ①正負の数 １符号のついた数	2	正負の数の必要性と意味を理解する。 反対の性質をもつ量や基準とのちがいを，正負の数を用いて表すことができる。	A（1）ア	反対の性質をもつ量や基準とのちがいを，正負の数を使って表したり，正負の数で表された数量の意味を読み取ったりすることができる。	ノート　テスト	表現力
				主体的に学習に取り組む態度	正負の数の必要性と意味を考えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	２数の大小	2	正負の数を数直線上に表すことができる。また，数直線を使って正負の数の大小を考え，その関係を不等号を使って表すことができる。 絶対値の意味を理解し，絶対値をもとにして正負の数の大小を考え，その関係を不等号を使って表すことができる。	A（1）ア	数直線上の位置と正負の数の大小の関係，絶対値の意味を理解し，それらをもとにして正負の数の大小を考え，その関係を不等号を使って表すことができる。	ノート　テスト	表現力
				主体的に学習に取り組む態度	正負の数の大小関係を考えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	②加法と減法 １加法	3	正負の数の加法の意味を理解し，東西の移動をもとにして考えることができる。 正負の数の加法の計算ができる。 正負の数では，加法の交換法則と結合法則が成り立つことを理解し，いくつかの数の加法をくふうして計算することができる。	A（1）ア	正負の数の加法の計算方法を理解し，計算ができる。正負の数では加法の交換法則と結合法則が成り立つことを理解し，いくつかの数の加法をくふうして計算できる。	ノート　テスト	表現力
				A（1）イ	正負の数の加法を，東西の移動をもとにして考え，説明することができる。	ノート　発表 テスト	主体性
				主体的に学習に取り組む態度	正負の数の加法の計算方法を考えようとしている。	ノート　発表 テスト	
	２減法	2	正負の数の減法の意味を理解する。 正負の数の減法を，加法になおして計算することができる。	A（1）ア	正負の数の減法の意味を理解している。 正負の数の減法の計算方法を理解し，計算ができる。	ノート　テスト	主体性
				A（1）イ	算数で学習したひき算と関連づけて，正負の数の減法を，数直線を使って考え，説明することができる。	ノート　発表 テスト	主体性
				主体的に学習に取り組む態度	正負の数の減法の計算方法を考えようとしている。	ノート　発表 テスト	
5月	３加法と減法の混じった計算	2	正負の数の加法と減法の混じった式を，項の和とみることができる。 正負の数の加法と減法の混じった式の計算ができる。	A（1）ア	正負の数の加法と減法の混じった式の計算方法を理解し，計算ができる。	ノート　テスト	表現力
				A（1）イ	正負の数の加法と減法の混じった式を，項の和とみることができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	正負の数の加法と減法の混じった式の計算の方法を考えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	基本の問題	1				ノート	
	③乗法と除法 １乗法	4	正負の数の乗法の意味を理解し，東西の移動をもとにして考えることができる。 正負の数の乗法の計算ができる。 正負の数で，乗法の交換法則と結合法則が成り立つことを理解し，いくつかの数の乗法をくふうして計算することができる。 累乗の意味を理解し，正負の数の累乗の計算ができる。	A（1）ア	正負の数の乗法の計算方法を理解し，計算ができる。 正負の数では乗法の交換法則と結合法則が成り立つことを理解し，いくつかの数の乗法をくふうして計算できる。 累乗の意味を理解し，正負の数の累乗の計算ができる。	ノート　テスト	表現力
				A（1）イ	正負の数の乗法を，東西の移動をもとにして考え，説明することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	正負の数の乗法の計算方法を考えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	２除法	2	正負の数の除法を，乗法の逆算をもとにして考え，正負の数の除法の計算ができる。 正負の数の除法を，逆数を使って乗法になおして計算することができる。	A（1）ア	正負の数の除法は，わる数の逆数をかけることと同じであることを理解し，逆数を使って乗法になおして計算できる。	ノート　テスト	表現力
				A（1）イ	除法を乗法の逆算とみて，正負の数の除法の計算方法を考え，説明することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	正負の数の除法の計算方法を考えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	３四則の混じった計算	2	正負の数の四則の混じった計算ができる。 正負の数の分配法則を利用した計算ができる。	A（1）ア	正負の数の四則の混じった式の計算順序を理解し，計算ができる。 正負の数では分配法則が成り立つことを理解し，分配法則を利用した計算ができる。	ノート　テスト	表現力
				主体的に学習に取り組む態度	正負の数の四則の混じった計算の計算方法を考えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	４数の範囲と四則	1	数の範囲と四則計算の可能性について調べ，その関係を考えることができる。	A（1）イ	数の集合と四則計算の可能性について捉え直すことができる。	ノート　発表 テスト	表現力
				主体的に学習に取り組む態度	数の範囲と四則計算の可能性の関係を調べようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性

6月	基本の問題	1				ノート	
	④正負の数の利用 身長の平均をくふうして求めてみよう １正負の数の利用	2	正負の数を利用して，身長の平均をくふうして求める方法を考え，説明することができる。 身のまわりの問題を，正負の数を利用して解決することができる。	Ａ（1）ア	具体的な場面で正負の数を使って表したり処理したりすることができる。	ノート　テスト	表現力
				Ａ（1）イ	正負の数を利用して，身長の平均をくふうして求める方法を考え，説明することができる。 身のまわりの問題を，正負の数を利用して解決することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	正負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 正負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	章の問題	1				ノート	
	★ ２章文字と式 ①文字を使った式 １文字の使用	3	正方形をつなげた棒の本数の求め方を自分なりの方法で考え，式や図を使って説明することができる。 文字を用いることの必要性と意味を理解し，具体的な数量を，文字を使った式で表すことができる。	Ａ（2）ア	具体的な数量を，文字を使った式で表すことができる。	ノート　テスト	表現力
				Ａ（2）イ	正方形をつなげた棒の本数の求め方を考え，式や図を使って説明することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	正方形をつなげた棒の本数の求め方を考えようとしている。 文字を用いることの必要性と意味を考えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	２文字を使った式の表し方	4	文字式での積の表し方にしたがって，式を表すことができる。 文字式での累乗や商の表し方にしたがって，式を表すことができる。 単位の異なる数量どうしの和や差を，単位をそろえた式に表すことができる。また，割合や速さに関する数量を，文字を使った式で表すことができる。 πの意味を理解し，円周の長さや円の面積を，文字を使った式で表すことができる。また，文字を使った式が表す数量を，読み取ることができる。	Ａ（2）ア	文字式での積の表し方のきまりを理解し，文字式での積の表し方にしたがって式を表すことができる。 文字式での累乗の表し方のきまりや商の表し方のきまりを理解し，累乗の表し方や商の表し方にしたがって式を表すことができる。 単位の異なる数量どうしの和や差の表し方を理解し，単位をそろえた式に表すことができる。 割合や速さに関する数量を，文字を使った式で表すことができる。 πの意味とπを使った式の表し方のきまりを理解し，文字を使った式で表すことができる。 文字を使った式が表す数量を，読み取ることができる。	ノート　テスト	表現力
				主体的に学習に取り組む態度	文字を用いることの必要性と意味を考えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	３代入と式の値	1	文字に数を代入することや式の値の意味を理解し，式の値を求めることができる。	Ａ（2）ア	文字に数を代入することや式の値の意味を理解し，式の値を求めることができる。	ノート　テスト	表現力
	基本の問題	1				ノート	
	②文字式の計算 １１次式の計算	5	棒の本数を求める式から，その求め方を読み取って，図を使って説明することができる。 項と係数の意味を理解し，文字の部分が同じ項を1つの項にまとめることができる。 1次式の加法や減法の計算ができる。 1次式と数の乗法の計算ができる。 1次式と数の除法の計算ができる。また，1次式のいろいろな計算ができる。	Ａ（2）ア	項と係数の意味を理解している。文字の部分が同じ項を1つの項にまとめることができる。 1次式の加法や減法の計算方法を理解し，計算ができる。 1次式と数の乗法・除法の計算方法を理解し，計算ができる。	ノート　テスト	表現力
7月				Ａ（2）イ	棒の本数を求める式から，その求め方を読み取り，図を使って説明することができる。 具体的な場面と関連づけて，1次式の加法・減法の計算方法を考え，説明することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	棒の本数を求める式から，その求め方を読み取って説明しようとしている。 1次式の計算方法を考えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	基本の問題	1				ノート	
	③文字式の利用 １数の表し方	3	文字を用いた式を活用して，立方体をつなげた棒の本数を求める式を考え，その求め方を説明することができる。 いろいろな整数を文字を用いた式で表したり，式が表す数を読み取ったりすることができる。	Ａ（2）ア	いろいろな整数を文字を用いた式で表したり，式が表す数を読み取ったりすることができる。	ノート　テスト	表現力
				Ａ（2）イ	立方体をつなげた棒の本数の求め方を，正方形をつなげた棒の本数の求め方と関連づけて考え，式や図を使って表現することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	２数量の間の関係の表し方	1	等式，不等式の意味を理解し，数量の間の関係を等式や不等式で表したり，等式や不等式が表す数量の関係を読み取ったりすることができる。	Ａ（2）ア	等式と不等式の意味を理解し，数量の間の関係を等式や不等式で表すことができる。 等式や不等式が表す数量の間の関係を読み取ることができる。	ノート　テスト	表現力
				主体的に学習に取り組む態度	等式と不等式の必要性と意味を考えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	章の問題	1				ノート	
	◎ ３章方程式 ①方程式とその解き方 １方程式とその解	3	求めたい数量がある問題を，既習の内容を活用して解決することを通して，方程式の必要性を理解する。 方程式とその解の意味を理解し，文字に値を代入して方程式の解を求めることができる。 等式の性質を使って，方程式を解くことができる。	Ａ（3）ア	方程式とその解の意味を理解している。 等式の性質を理解し，等式の性質を使って方程式を解くことができる。	ノート　テスト	表現力
9月				Ａ（3）イ	求めたい数量がある問題を，既習の内容を活用して考え，式や図を使って説明することができる。 方程式を解く方法を，てんびんの操作と結び付けて考え，説明することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	方程式の必要性と意味を考えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性

9月	２方程式の解き方	4	移項の意味を理解し，移項の考えを使って方程式を解くことができる。 かっこをふくむ方程式や，係数に小数をふくむ方程式を解くことができる。 係数に分数をふくむ方程式を解くことができる。また，1次方程式を解く手順を理解する。	A（3）ア	移項の意味を理解し，移項の考えを使って方程式を解くことができる。移項の考えを使って方程式を解く手順を理解している。 かっこをふくむ方程式，係数に小数や分数をふくむ方程式の解き方を理解し，その方程式を解くことができる。 1次方程式を解く手順を理解している。	ノート　テスト	表現力
				A（3）イ	等式の性質を使って方程式を解く過程を振り返って，移項の考えを見いだし，説明することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	方程式を効率的に解く方法を考えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	基本の問題	1				ノート	
	②１次方程式の利用 １１次方程式の利用	4	具体的な問題を，方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解する。 個数と代金に関する問題を，方程式を利用して解決することができる。 過不足に関する問題を，方程式を利用して解決することができる。 速さ・時間・道のりに関する問題を，方程式を利用して解決することができる。また，求めた解が問題に適しているかどうかを考え，説明することができる。	A（3）ア	具体的な問題の中の数量やその関係に着目し，1次方程式をつくることができる。 方程式を利用して問題を解決するときの手順を理解している。	ノート　テスト	主体性
				A（3）イ	１次方程式を利用して，具体的な問題を解決することができる。 求めた解が問題に適しているかどうかを，問題の場面に戻って考え，説明することができる。	ノート　発表 テスト	表現力
				主体的に学習に取り組む態度	方程式を具体的な問題の解決に利用しようとしている。 方程式を活用した問題解決の過程を振り返ってその手順を検討しようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	２比例式の利用	1	比例式の性質を理解し，その性質を利用して文字の値を求めたり，具体的な問題を解決したりすることができる。	A（3）ア	比例式の意味とその性質を理解し，比例式の性質を利用して文字の値を求めることができる。	ノート　テスト	表現力
				A（3）イ	比例式の性質を利用して，具体的な問題を解決することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	比例式を具体的な問題の解決に利用しようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	基本の問題 章の問題	2				ノート	
	☆ ４章比例と反比例 ①関数と比例・反比例 １関数	3	身のまわりの問題を，関数の考えを利用して解決することができる。 関数の意味及び変域の意味と表し方を理解し，変域を不等号を使って表すことができる。また，2つの数量の間に関数の関係があるかどうかを判断することができる。 身のまわりの問題を，関数の考えを利用して解決することができる。	C（1）ア	関数の意味を理解している。変域の意味と表し方を理解し，変域を不等号を使って表すことができる。2つの数量の間に関数の関係があるかどうかを判断することができる。	ノート　テスト	主体性
				C（1）イ	身のまわりの問題を，関数の考えを利用して解決することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	関数の考えを生活や学習に生かそうとしている。 関数関係の意味や比例，反比例について考えようとしている。	ノート　発表 テスト	
	2比例と反比例	1	比例の意味を理解し，比例の関係を式に表すことができる。また，反比例の意味を理解し，反比例の関係を式に表すことができる。	C（1）ア	比例や反比例の意味を理解し，比例や反比例の関係を式に表すことができる。	ノート　テスト	主体性
				主体的に学習に取り組む態度	関数の考えを生活や学習に生かそうとしている。 関数関係の意味や比例，反比例について考えようとしている。	ノート　発表 テスト	
	基本の問題	1				ノート	
	②比例の性質と調べ方 １比例の表と式	2	xの変域や比例定数を負の数にひろげても，比例の性質が成り立つことを理解する。 yがxに比例するとき，1組のx，yの値から，比例の式を求めることができる。	C（1）ア	xの変域や比例定数を負の数にひろげても，比例の性質が成り立つことを理解している。 yがxに比例するとき，1組のx，yの値から，yをxの式で表すことができる。	ノート　テスト	表現力
				主体的に学習に取り組む態度	数の範囲を負の数までひろげると比例の性質やグラフの特徴がどうなるかやその調べ方を考えようとしている。	ノート　発表 テスト	
10月	２比例のグラフ	4	座標の意味や点の位置の表し方を理解し，点の座標を求めたり，座標を平面上の点で表したりすることができる。 比例のグラフは，その式をみたす点の集合であり，原点を通る1つの直線であることを理解する。また，比例のグラフの特徴を理解する。 比例について，xの値が増加するときのyの値の変化の特徴を理解する。また，比例のグラフの特徴をもとに，グラフをかくことができる。	C（1）ア	座標の意味や点の位置の表し方を理解している。 点の座標を求めたり，座標を平面上の点で表したりすることができる。 比例について，xの値が増加するときのyの値の変化の特徴を理解している。比例のグラフの特徴をもとに，グラフをかくことができる。	ノート テスト	表現力
				C（1）イ	比例のグラフの特徴を見いだし，説明することができる。 比例について，xの値が増加するときのyの値の変化の特徴を，表やグラフを用いて捉え，説明することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	変域や比例定数を負の数にひろげて，比例のグラフの特徴を捉えようとしている。 比例の値の変化の特徴を，表やグラフを用いて捉えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	３比例の表，式，グラフ	1	比例の表，式，グラフを関連づけて理解する。また，比例のグラフから式を求めることができる。	A（1）エ	比例のグラフから式を求めることができる。	ノート　テスト	表現力
				C（1）イ	比例の表やグラフから式を求める方法を考え，説明することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	比例について学んだことを生かして，比例の票，式，グラフを関連づけてて捉えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	基本の問題	1				ノート	

	③反比例の性質と調べ方 １反比例の表と式	2	xの変域や比例定数を負の数にひろげても，反比例の性質が成り立つことを理解する。 yがxに反比例するとき，1組のx，yの値から，反比例の式を求めることができる。	C（1）ア	xの変域や比例定数を負の数にひろげても，反比例の性質が成り立つことを理解している。 yがxに反比例するとき，1組のx，yの値から，反比例の式を求めることができる。	ノート　テスト	表現力
				主体的に学習に取り組む態度	数の範囲を負の数までひろげると反比例の性質やグラフの特徴がどうなるかやその調べ方を考えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
11月	２反比例のグラフ	3	反比例のグラフは，その式をみたす点の集合であり，なめらかな2つの曲線であることを理解する。 反比例のグラフの特徴を理解する。また，反比例のグラフをかくことができる。 反比例の値の変化の特徴を理解する。	C（1）ア	反比例のグラフは，式をみたす点の集合であり，なめらかな2つの曲線であることを理解し，グラフをかくことができる。 反比例のグラフの特徴を理解している。	ノート　テスト	主体性
				C（1）イ	反比例について，xの値が増加するときのyの値の変化の特徴を，表やグラフを用いて捉え，説明することができる。	ノート　発表 テスト	表現力
				主体的に学習に取り組む態度	変域や比例定数を負の数にひろげて，反比例のグラフの特徴を捉えようとしている。 反比例の値の変化の特徴を，表やグラフを用いて捉えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	３反比例の表，式，グラフ	1	反比例の表，式，グラフを関連づけて理解する。また，反比例のグラフから式を求めることができる。	C（1）ア	反比例のグラフから式を求めることができる。	ノート　テスト	表現力
				C（1）イ	反比例の表やグラフから式を求める方法を考え，説明することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	反比例について学んだことを生かして，反比例の表，式，グラフを関連づけて捉えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	基本の問題					ノート	
	④比例と反比例の利用 １比例と反比例の利用	3	身のまわりの問題で，関数の関係にある数量を見いだし，その関係を比例とみなして解決することができる。 身のまわりの問題を比例や反比例を利用して解決することができる。また，a＝bcで表される関係において，それらの数量の間の関係を考えることができる。 身のまわりの問題を，比例のグラフを利用して解決することができる。	C（1）ア	具体的な事象で関数の関係にある数量を見いだし，その関係を比例とみなして問題を解決することができる。 比例のグラフから，具体的な事象を読み取ることができる。	ノート　テスト	表現力
				C（1）イ	具体的な事象の中の数量の関係が比例や反比例であることを見いだし，問題を解決することができる。a＝bcで表される関係において，それらの数量の間の関係を考察することができる。 具体的な事象の中の数量の関係を比例とみなして，そのグラフを利用して問題を解決することができる。	ノート　発表 テスト	主体性
				主体的に学習に取り組む態度	比例，反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 比例，反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	章の問題	1				ノート	
	５章平面図形 ①図形の移動 １図形の移動	6	しきつめ模様の特徴を図形の移動の見方で捉えたり，図形を移動させてしきつめ模様をつくったりすることができる。 平行移動・回転移動・対称移動の意味とその性質を理解する。 2つの合同な図形の関係を移動の見方で捉え，説明することができる。	B（1）ア	平行移動・回転移動・対称移動の意味とその性質を理解し，ある図形を平行移動・回転移動・対称移動させた図形をかくことができる。 平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解している。	ノート　テスト	主体性
				B（1）イ	しきつめ模様の特徴を図形の移動の見方で捉えたり，図形を移動させてしきつめ模様をつくったりすることができる。 2つの合同な図形の関係を移動の見方で捉え，説明することができる。	ノート　発表 テスト	表現力
				主体的に学習に取り組む態度	2つの合同な図形の関係を移動の見方で捉えようとしている。 図形の移動について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	基本の問題	1				ノート	
12月	②基本の作図 １作図のしかた	2	作図における定規とコンパスの役割と使い方を理解し，簡単な作図ができる。	B（1）ア	作図における定規とコンパスの役割と使い方を理解し，簡単な作図ができる。円に関する用語や記号の意味と使い方を理解している。	ノート　テスト	表現力
				B（1）イ	正六角形がかける理由を，コンパスの役割に着目して考え，説明することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	定規とコンパスだけを使って，どんな図形がかけるかを考えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	２基本の作図	4	基本的な作図の方法を考えるために，交わる2つの円の性質を理解する。 垂線を作図する方法を理解し，作図することができる。 線分の垂直二等分線を作図する方法を理解し，作図することができる。 角の二等分線を作図する方法を理解し，作図することができる。また，直線上の点を通り，その直線に垂直な直線を作図する方法を考え，説明することができる。	B（1）ア	交わる2つの円の性質を理解している。 垂線・線分の垂直二等分線・角の二等分線を作図する方法を理解し，作図することができる。 点と直線との距離，平行な2直線の距離の意味を理解している。 2点から等距離にある点は，線分の垂直二等分線上にあることを理解している。 角の2辺までの距離が等しい点は，その角の二等分線上にあることを理解している。	ノート　テスト	表現力
				B（1）イ	交わる2つの円の性質を見いだし，説明することができる。 直線上の点を通り，その直線に垂直な直線を作図する方法を考え，説明することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	基本的な作図の方法を，線対称な図形の性質をもとにして考えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性

	３いろいろな作図	2	基本的な作図を利用して，円の接線やいろいろな条件をみたす図形を作図することができる。 基本的な作図を利用して75°の角を作図する方法を考え，式や図を使って説明することができる。	B（1）ア	円の接線，接点の意味と円の接線の性質を理解している。	ノート　テスト	表現力
				B（1）イ	基本的な作図を利用して，円の接線やいろいろな条件をみたす図形を作図する方法を考え，説明することができる。 基本的な作図を利用して75°の角を作図する方法を考え，説明することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	作図について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 作図について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。基本的な作図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	基本の問題	1				ノート	
1月	③おうぎ形 １おうぎ形	2	身のまわりにあるものを円とみなして，その円を等分してできるおうぎ形に着目し，弧の長さや面積が中心角に比例することを理解する。 おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。	B（1）ア	おうぎ形の弧の長さや面積が中心角に比例することをもとにして，おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。	ノート　テスト	主体性
				主体的に学習に取り組む態度	おうぎ形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	章の問題	1				ノート	
	６章空間図形 ①いろいろな立体 １いろいろな立体	3	身のまわりにあるものから立体を見いだし，それらの立体をいろいろな見方で分類することができる。 多面体の意味を理解する。また，角錐や円錐の意味とそれらの特徴を理解する。 正多面体の意味とその特徴を理解する。	B（2）ア	多面体の意味を理解している。角錐，円錐の意味とそれらの特徴を理解している。 正多面体の意味を理解している。正多面体の辺の数や頂点の数を求めることができる。	ノート　テスト	表現力
				B（2）イ	正多面体の共通点やちがいを見いだし，説明することができる。 立体をいろいろな見方で分類し，立体のどこに着目して分類したかを説明することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	空間図形の性質や関係を捉えることの必要性や意味を考えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	②立体の見方と調べ方 １直線や平面の位置関係	3	空間内にある平面が1つに決まる条件を理解する。 空間内にある平面と平面，平面と直線，直線と直線の位置関係を理解する。 空間内にある直線と平面の垂直，平面と平面のつくる角を理解する。	B（2）ア	空間内にある平面が1つに決まる条件を理解している。 空間内にある平面と平面・平面と直線・直線と直線の位置関係や交線・ねじれの位置の意味を理解している。 空間内にある直線と平面の垂直や平面と平面のつくる角，点と平面との距離，平面と平面との距離の意味を理解している。	ノート　テスト	表現力
				B（2）イ	空間内にある平面が1つに決まる条件を，具体物を用いて考え，説明することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	空間図形の性質や関係を捉えることの必要性や意味を考えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	２面の動き	1	角柱や円柱，円錐，球などを，平面図形の移動によってできた立体とみることができる。	B（2）ア	母線，回転体の意味を理解している。平面図形の移動によってできる立体の見取図をかくことができる。	ノート　発表 テスト	表現力
				B（2）イ	空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えることができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
2月	３立体の展開図	3	角柱，円柱の展開図とその特徴を理解する。 角錐，円錐の展開図とその特徴を理解する。 円錐の展開図で，側面になるおうぎ形の中心角を求め，展開図をかくことができる。	B（2）ア	角柱や円柱・角錐・円錐の展開図とその特徴を理解し，展開図をかくことができる。 角柱や円柱・角錐・円錐の側面について長さや中心角を求めることができる。	ノート　テスト	表現力
				B（2）イ	立体を展開図に表して，面の実際の形や長さの関係を捉えることができる。 円錐の展開図で，側面になるおうぎ形の中心角を求める方法を考え，説明することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	空間図形を平面上に表現して，平面上の表現から空間図形の性質を見いだそうとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	４立体の投影図	1	投影図の意味を理解し，立体の投影図から，その立体を読み取ったり，投影図に立体のどの部分の実際の長さがあらわれるかを考え，説明したりすることができる。	B（2）ア	投影図の意味と立体の投影図のかき方を理解している。立体の投影図から，その立体を読み取ることができる。	ノート　テスト	主体性
				B（2）イ	投影図に立体のどの部分の実際の長さがあらわれるかを考え，説明することができる。	ノート　発表 テスト	
	基本の問題	1				ノート	
	③立体の体積と表面積 １体積	2	角柱や円柱の体積の求め方を理解し，それらを求めることができる。 角錐や円錐の体積の求め方を理解し，それらを求めることができる。	B（2）ア	角柱や円柱・角錐・円錐の体積の求め方を理解し,それらを求めることができる。	ノート　テスト	表現力
				B（2）イ	角錐や円錐の体積を，底面積が等しく，高さが等しい角柱や円柱の体積と比べ，その求め方を考え，説明することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	立体図形の体積の求め方を考えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	２表面積	2	角柱や円柱，円錐の表面積の求め方を理解し，それらを求めることができる。	B（2）ア	角柱や円柱，円錐の表面積の求め方を理解し，それらを求めることができる。	ノート　テスト	表現力
				B（2）イ	角柱や円柱，円錐の表面積の求め方を，展開図をもとにして考え，説明することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	立体図形の表面積の求め方を考えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性

	３球の体積と表面積	1	球の体積や表面積の求め方を理解し，それらを求めることができる。	B（2）ア	球の体積や表面積の求め方を理解し，それらを求めることができる。	ノート　テスト	表現力
				B（2）イ	球の体積や表面積を，その球がちょうど入る円柱の体積や表面積と比べ，その求め方を考え，説明することができる。	ノート　発表 テスト	
	基本の問題 章の問題	2				ノート	
3月	７章データの分析と活用 ①データの整理と分析 １データの分析の見方	3	既習のデータの整理や分析の方法を，問題解決に生かそうとしている。 データを度数分布表やヒストグラムに表し，分布の特徴を読み取り，説明することができる。 相対度数の必要性と意味を理解し，2つのデータを相対度数の折れ線に表して，分布を比較し，説明することができる。	D（1）ア	ヒストグラムや度数折れ線の必要性と意味を理解し，それらを用いてデータを整理することができる。累積度数の必要性と意味を理解し，求めることができる。 ヒストグラムや度数折れ線の必要性と意味を理解し，それらを用いてデータを整理することができる。	ノート　テスト	表現力 主体性
				D（1）イ	度数分布表やヒストグラムから，データの分布の特徴を読み取り，説明することができる。 相対度数の折れ線から，2つのデータの分布を比較し，説明することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	ヒストグラムや相対度数の必要性や意味を考えようとしている。 既習のデータの整理や分析の方法を，問題解決に生かそうとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	２データの分布の特徴の表し方	2	代表値や範囲を用いてデータの分布の傾向を読み取り，説明することができる。	D（1）ア	代表値や範囲の必要性と意味を理解し，それらを求めることができる。	ノート　テスト	表現力
				D（1）イ	代表値や範囲を用いてデータの分布の傾向を読み取り，説明することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	代表値や範囲の必要性や意味を考えようとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	②データの活用 どちらの並び方がよいかな	1	目的に応じてデータを収集して分析し，そのデータの分布の傾向を読み取り，批判的に考察し判断することができる。	D（1）ア	コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。	ノート　テスト	表現力
				D（1）イ	目的に応じてデータを収集して分析し，そのデータの分布の傾向を読み取り，批判的に考察し判断することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	ヒストグラムや相対度数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。ヒストグラムや相対度数を活用した問題解決の過程を振り返って検討したり，多面的に捉え考えようとしたりしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	③ことがらの起こりやすさ １起こりやすさの表し方	3	不確定な事象の起こりやすさを，その事象の起こる割合や試行の回数に着目して考え，説明することができる。 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性と意味を理解する。 多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして，不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り，説明することができる。	D（1）ア	多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性と意味を理解している。	ノート　テスト	表現力
				D（1）イ	不確定な事象の起こりやすさを，その事象の起こる割合や試行の回数に着目して考え，説明することができる。 多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして，不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り，説明することができる。	ノート　発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性や意味を考えようとしている。 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率について学んだことをを生活や学習に生かそうとしている。	ノート　発表 テスト	主体性
	章の問題	1					
	予備時間	6				ノート	

140